



混戦のOPも回航はみんなうまい



暑い！  
風よ吹いてくれ！！

# 2010年度JOC ジュニアオリンピックカップ兼 JSAFジュニア・ユース セーリングチャンピオンシップ

2010年7月24～25日

和歌山ナショナルトレーニングセンター(和歌山セーリングセンター)

うまい！  
シラス入りのお好み焼き

夏休み初めのジュニアセーラーのためのレガッタ

「JOCジュニアオリンピックカップ兼

JSAFジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップ (ジュニア部門)」が

今年も和歌山ナショナルトレーニングセンターで開催された。

今年は鹿児島県から千葉県までOPクラスに84艇、

レーザー4.7クラスに11艇がエントリーするビッグレガッタとなった。

今年も財団法人地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業承認大会」として行われた。



左からOP, オープン, 4.7の表彰式



4.7のスタート。もう少し風がほしい

## 84艇が集まったOP級

レガッタ初日の24日、梅雨が明け夏本番、いきなり猛暑、ぐんぐん上がる気温の中シーブリーズが和歌浦の海に吹くはずだったが、どうも陸だけでなく海も暑いのか、なかなか風が入ってこない。熱中症を回避するため陸上待機となった。

ジュニアセーラーたちはハーバーのあちらこちらで水遊びを楽しみ、暑さは運営スタッフと保護者の皆さんにだけ襲いかかってきたようだ。昼が近づいて、少し物足りない気もするが風が入り始めたので出艇し、いよいよレースが始まった。

第1レースは4・7からスタート。OPを卒業したジュニアセーラーが気持ちよく上マークを目指して滑り出していた。続いてOPのスタート。さすがに84艇のスタートは迫力がある。オールフエア。

今回は全日本上位を目指すセーラーから今年初めてレースにチャレンジする選手までレベルの差があったが、子どもたちは一生懸命に艇を走らせていた。

引き続き第2レース。OPはプラック旗が掲揚され数艇が失格となった。初日は光セーリングクラブの花田義弘君(小4)がなんと1位、1位と絶好調。4・7は市川夏美さん、村山仁美さんが3点で一步リードという結果となった。

初日のレース後は本大会恒例のパーベキュー大会。参加は選手、コーチ、保護者、そして運営と約180人にもなった。和歌山ジュニアの保護者や地



元セーラーたちが準備してくれたメニューは、焼き肉の他、和歌浦湾のシラスを入れたお好み焼き、そうめん、そして保護者の皆さんには生ビールをサービス。ジュニア選手の活躍のためには家族のサポートがなくては始まらない。和歌山の夜はおいしいもので満喫してもらいたいとの熱い思いがいっぱいだった。

もちろん「ヨーヨー釣り」など夜店もあり、最後には470クラスNTの吉見選手の司会によるビンゴゲームも行われ和歌山の夏の夜が盛り上がった。

## 夏休みの始まりは和歌山NTCに

大会2日目、1時間の風待ちの後、入り始めたシーブリーズの中、すばやくコース設定が行われ第3レースが始まった。

先にスタートした4・7がアウトクループを回り、第2マークにはOP軍団が押し寄せてきた。さすがに練習を積んだジュニアセーラーは混戦の中でもうまく回航する。

しかしOPの中盤以降は団子状態で10数艇がオーバーラップして回航。第3、第4マークと風の振れもあつてますます混戦。回航順位が読めないというコミッティーから悲鳴が上がる中、第5レースまで行われた。

最終成績は、OP小学生クラスの1位が光セーリングクラブの花田義弘君(小4)、2位は江の島ヨットクラブジュニアの新谷惟斗君(小5)、3位は広島セーリングスクールの松尾虎太郎君(小6)となった。彼らには恒例のレーザー4・7のロアマストとセールがプレゼントされた。オープンクラスでも光SC

の花田君が優勝、2位は江の島YCYの柳内航平君(中1)、3位も江の島YCYの馬渡風沙さん(中3)となった。そして4・7は1位が夢の島の市川夏美さん、2位が東海大付属高輪高校の村山仁美さん、3位が和歌山の丸山胡桃さんと高1女子が活躍した。

この大会は、和歌山ナショナルトレーニングセンター(NTC)の活動のひとつとして充実したレースと楽しいアフターレースを提供することでジュニアセーラーの育成を行うもので、まずはOP、そして体が大きくなればレーザー4・7、ラジアルへとステップアップしてもらいたいと考えている。

同年代の選手たちと競い合い、交流を深めることでセーリングスキルの向上はもちろん、選手の心と体の成長に少しでも役立つことができればと思う。そして選手たちを熱く支援する保護者の皆さんも交流していただき、情報交換の場を提供できたのではないかと思う。

競技力の向上、セーリングの普及という2つのテーマを両輪に来年以降も開催していきたい。夏休みの始まりは和歌山NTCに。ジュニアセーラーの夢の集うレガッタにしていきたい。(レポーター&写真/中村和哉・和歌山NTC)



ご挨拶いただく大橋健一和歌山市長